

Q1. ある規則に従って、下のようにならば数字が並んでいます。

規則を見つけて、 に入る数字を教えてください。

122, 236, 3412, 4520,

Q2. ある規則に従って、下のようにならばアルファベットが並んでいます。

規則を見つけて、 に入るアルファベットを教えてください。

A, C, F, J, O,

Q. ある規則に従って、下のよう<sup>した</sup>に漢字<sup>かんじ</sup>が並<sup>なら</sup>んでいます。

規則<sup>きそく</sup>を見<sup>み</sup>つけて、 <sup>はい</sup>に入る漢字<sup>かんじ</sup>を答<sup>こた</sup>えてください。

暗 完 三 短  半 万

Q1. ある規則に従って、下のようにならぬ数が並んでいます。

規則を見つけて、 に入る数字を教えてください。

122, 236, 3412, 4520,

数字を見してみると、左側2つの数字の積（かけ算の答え）になって

います。例：122 →  $1 \times 2 = 2$

そして、この左側2つの数字が1ずつ大きくなっているため、

に入る数字は「5630」となります。

Q2. ある規則に従って、下のよう<sup>した</sup>にアルファベットが並んで<sup>なら</sup>います。

規則<sup>きそく</sup>を見つ<sup>み</sup>けて、 <sup>はい</sup>に入るアルファベットを<sup>こた</sup>答えてください。

A, C, F, J, O,

アルファベットの並び<sup>なら</sup>に注目<sup>ちゅうもく</sup>すると、Aから始<sup>はじ</sup>まっていますが、飛び飛<sup>と</sup>びに並<sup>なら</sup>んでいます。Aのあ<sup>ぬ</sup>とはBが抜<sup>ぬ</sup>けていて、Cのあ<sup>ぬ</sup>とはDとEが抜<sup>ぬ</sup>けていて、Fのあ<sup>ぬ</sup>とはGとHとIが抜<sup>ぬ</sup>けています。1つずつで飛<sup>と</sup>んでいるアルファベットの<sup>かず</sup>数<sup>ふ</sup>が増<sup>き</sup>えていることに気<sup>き</sup>づく<sup>と</sup>と、Oの次<sup>つぎ</sup>は5つ飛<sup>と</sup>んで、「U」になります。

Q. ある規則に従って、下のよう<sup>した</sup>に漢字<sup>かんじ</sup>が並<sup>なら</sup>んでいます。

規則<sup>きそく</sup>を見つ<sup>み</sup>けて、 に入<sup>はい</sup>る漢字<sup>かんじ</sup>を答<sup>こた</sup>えてください。

暗 完 三 短  半 万

それぞれの漢字<sup>かんじ</sup>を音読<sup>おんよ</sup>みしてみましょう。

あん、かん、さん、たん、……、はん、まん。

最初<sup>さいしょ</sup>の音<sup>おと</sup>が「あ、か、さ、た、……、は、ま」となっており、抜<sup>ぬ</sup>けて

いる音<sup>おと</sup>は「な」とわかります。なので、音読<sup>おんよ</sup>みで「なん」と読<sup>よ</sup>む

漢字<sup>かんじ</sup>が答<sup>こた</sup>えになります。例：何<sup>れい</sup>、南、軟 など。